年　組　名前

道新でワークシート

卓上四季

秋を探そうと車で出かけた。札幌から東へ向かうと、長沼から由仁に連なる丘陵とぶつかる。点在する果樹園にリンゴがなっていた。甘く香る真っ赤な実。澄み切った青空に映える。平地の水田は多くが刈り取りを終えていた。猛暑のため、作物の収穫期が早まっていると聞いた▼夕張、占冠の樹海を抜け、日高の山並みを越える。視野に飛び込んでくるのは十勝平野であった。綿菓子みたいなちぎれ雲の下、畑と防風林がどこまでも続く。中札内のカシワ林でひと休みすると、こずえが風に揺れていた。頭上から葉ずれの音が聞こえる▼池田の辺りは豆の収穫が真っ盛りだった。小豆、手亡、金時…。つややかな実りはどんなスイーツに変身するのだろうか▼道東道をひた走り、釧路で1泊した。うっすら霧が流れる街はやはり涼しい。翌日はノロッコ号で湿原を目指した。車窓からの眺めは夏の終わりの風情だったが、アキアカネの姿に季節の移ろいを教わる。原野の奥に一瞬、タンチョウのつがいが見えた。釧路川を進むカヌーイストが楽しそうだ▼日が大きく傾いた。湿原を西から見下ろす展望台に向かう。地元出身の建築家、毛綱毅曠が手がけた建物の屋上から日没を待った▼たなびく雲が色を変えていく。蜂蜜色からサーモンピンク、深紅へ。〈夕ぐれの時はよい時。／かぎりなくやさしいひと時〉。堀口大学の詩句にちいさな秋を思う。　2023・9・26

2023年9月26日（火）朝刊　全道版　1ページ（記事は再編集しています）

① 記事で使われている語句の中で「赤い部分があるもの」を二つ書きなさい。

② この文章の特徴として適切なものを次から一つ選びなさい。

ア　釧路から札幌へと車で向かった旅の中で見つけた秋らしいものが書かれている。
イ　釧路までの旅の途中で筆者が視覚的に捉えたものだけが書かれている。
ウ　札幌から釧路までの日帰り旅行で見つけた秋らしいものを色彩豊かに書いている。
エ　札幌からの旅の途中で発見した秋らしいものと筆者が思ったことが書かれている。

③ 以下の条件に従い、自分の思う「夕ぐれ時のよさ」を１５０字～２００字で書きなさい。
・一文目に自分の思う「夕ぐれ時のよさ」を書くこと。
・二文以降に自分の体験を書くこと。